

2023年9月13日

## アフラックススクエアビルにおいて、 「LEED認証 プラチナレベル」と 「DBJ Green Building認証 4つ星」を取得

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、当社が保有するオフィスビル「アフラックススクエア」（東京都調布市）において、「LEED認証 プラチナレベル」と「DBJ Green Building認証 4つ星」を取得しましたのでお知らせします。

LEED 認証とは、非営利団体 U.S. Green Building Council が運営する国際的な環境性能認証制度で、人の健康や環境に配慮した建物（グリーンビルディング）を評価しています。

当社は、「既存ビルの運用・管理部門」における全4段階の認証レベルのうち、最高レベルである「プラチナレベル」を金融業界で初めて取得しました。

また、DBJ Green Building 認証とは、環境・社会への配慮がなされた不動産を支援するために、日本政策投資銀行（DBJ）が創設した認証制度であり、当社は、全5段階の認証レベルのうち準最高レベルの「4つ星」を取得しました。



アフラックススクエア

当社は、「生きる」を創るリーディングカンパニーへ飛躍することを目指し、誰もが安心して健やかに自分らしく生きる社会の実現に貢献するため、持続可能な環境づくりに努めることの重要性を十分に認識し、環境保全に取り組んでいます。そして、「環境経営宣言」の制定をはじめ、「気候変動への対応」「持続可能な資源利用」「ステークホルダーエンゲージメント」を3つの重点テーマとして目標を設定し、企業活動を通じた一層の戦略的かつ体系的な「環境経営」を推進しています。

この度、アフラックススクエアにおいて、再生可能エネルギーや省エネルギーへの取り組みを継続的に行ってきたことが、環境に配慮したビルとして高く評価されました。

### ●再生可能エネルギーへの取り組み

アフラックススクエアで使用していたガス燃焼式設備を電気式設備に変更するとともに、使用するすべての電力を再生可能エネルギーに切り替えることでカーボンニュートラルを実現しています。また、当社が入居する賃貸借ビルについても再生可能エネルギーの導入に向けた取り組みを進めています。

### ●省エネルギーへの取り組み

アフラックススクエアについては、エネルギー使用量の削減に向け、高効率エネルギーシステムへの変更を進めています。また、当社が入居する賃貸借ビルについても、低消費電力で長寿命なLED照明の導入や、環境省が推奨する設定温度に沿った空調の管理などに努めています。

役職員に対しては、省エネルギーを意識した、照明・パソコン・ディスプレイ・空調等の使い方を啓発することで、環境意識の醸成にも努めています。

今後も当社は、気候変動などの人類共通の課題である環境問題に対して、CSV（Creating Shared Value、共有価値の創造）経営の実践を通じ、継続的な取り組みを推進していきます。

## 別紙

- アフラックスクエアビルの基本情報

所在地 : 東京調布市小島町 2-33-2

階数 : 地下 2 階、地上 11 階建て

敷地面積 : 6,152.7m<sup>2</sup>

建築面積 : 2,995.7 m<sup>2</sup>

延床面積 : 28,521.6m<sup>2</sup>

竣工 : 1994 年 4 月

- アフラックスクエアが取得した環境認証

(2022 年の実績に基づき、2023 年に環境認証を取得)

認証名 : LEED 認証

認証レベル : プラチナ

内容 : 環境配慮に優れた建築物であるグリーンビルディングを評価する認証。  
運営にかかるエネルギーや水使用量の削減、快適性など、建物全体の環境性能などを評価。

認証名 : DBJ Green Building 認証

認証レベル : 4 つ星

内容 : 「環境・社会への配慮がなされた不動産」を評価する認証。  
環境性能に加え、多様性・周辺環境への配慮、危機に対する対応力、ステークホルダーとの協働などを評価。